

第48回「市民の皆さんとランチで対話」概要

団体名	能代市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成21年9月2日(水) 正午～午後1時
開催場所	市長応接室
出席者	能代市男女共同参画推進委員会の皆さん 8人 (能代市:市長 他5人)
案件	「男女共同参画都市宣言」について 他
会議の概要	<p>( ...男女共同参画推進委員会の皆さん ...市長 ...課長等)</p> <p><b>市長との対話内容</b>  活動状況を事務局から説明</p> <p>当委員会は、「男性」「女性」の定義ではなく、個々の市民の能力が発揮できる地域社会の構築を願っている。</p> <p>平成19年に「市男女共同参画計画」を策定したが、“能代市らしい”「都市宣言」を行いたい。</p> <p><b>1 「男女共同参画都市宣言」について</b></p> <p>「男女共同参画都市宣言」に対する市長の基本的な考えと、この宣言には国から助成金等があるが、それがなくても必要との判断が聞きたい。</p> <p>私見だが、「男女共同参画」と意識されない社会が真の「男女共同参画」社会であり、性を問わず能力を発揮できる社会を目指す社会と思う。</p> <p>しかし、現実が違うので、市が主導し、その実現を目指して意思統一をし「宣言」することで、女性が発言しやすい環境を醸成する必要はある。</p> <p>補助はあるが、それに関わらず、「宣言」したい。結果として補助されれば、活用したい。</p> <p>「宣言」までの過程が大事。打ち上げっぱなしとなることが懸念される。</p> <p>原案は皆さんの議論で作ってもらい、「意識」の醸成もしたい。</p> <p>市では市民協働を進めるとのメッセージと受けたので、微力ながら協力したい。</p> <p><b>2 市民との「協働」について</b></p> <p>市政は市民との「協働」が不可欠と思うが、市の「協働」に対する基本理念を聞きたい。ぜひ市独自の理念・指針をまとめてほしい。</p> <p>異論だが、「男女共同」は時間がかかる。お互いに手伝いあうなど、家族・家庭から考えている。</p> <p>この数年で、「男女共同参画」の言葉が市民に浸透してきた。今後も、積み重ねて拡げていけばと思う。</p> <p>市の指針はなく、私見だが、「男女共同参画」が、男女同じことをすべきとの意識はない。性別の特徴があり、得手不得手もあって当然。個々の能力評価の際に、公平にしっかり判断する。それが私の基本的考え。</p>

家族では、夫が稼ぎ、妻が家を守るとの固定観念ではなく、逆でも良い。互いが尊重し、能力を発揮しあって家庭を築くことが大事。

市民と行政の「協働」では、「故郷」への愛が双方に共通し、互いができることを力を合わせてまちづくりを進める。その気持ちが大事。

共通目的に向かい、情報を交換し合う配慮・視点が必要と考えている。

### 3 防災会議の委員の選定について

全国的に「防災」会議等では女性委員が少ない。女性視点も必要であり、市の「防災対策会議」には、女性職員等も入れてほしい。

災害非常時の「食・乳幼児・高齢者」等の対応は女性が適している。市の防災危機管理室に女性職員を配置し、連携していきたい。

避難所生活は、「授乳」「要介護者のおむつ交換」等様々な問題があり、場所の配置を考える必要がある。女性なしでは、ソト面の視点が欠ける。

「阪神淡路大震災」の際、避難所で女性が性被害にあったが、犯人と同所で過ごさなければならなかったと聞いた。防犯のためにも、女性を入れてほしい。

米代川水害を経験したからこそ全国に先鞭をつけるべき。

全国的に、地震等大災害経験の問題・反省点が次に活かされていない。

そのとおり。女性の場合、『視線』の意識が必要。着替え等「遮蔽性」も考慮すべき。体育館等の実状では難しいが、今後考慮は必要。

従来、「長期避難」の経験がなく、問題にならなかったが、万一の場合に、女性の視点がないと女性は悲鳴を上げる。

次期選任の際は女性登用も考慮し、その他女性の意見を吸い上げできる体制を考えなければならない。

市でも色々想定し、備蓄等してきたが、ソト面での配慮が必要と気付かされた。今後は、長期避難のシミュレーションも行い、必要なものを考えていきたい。

今後も皆さんから意見・提言をいただきたい。

### その他

防災の面で、消防署関連でも、今後婦人部との「協働」が必要では。

私見だが、どこも消防団員不足に悩んでおり、女性たちにも、日常の広報活動等で地域の防災・消防に関わってほしい。今後協力をお願いしたい。